

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2005-152239(P2005-152239A)

【公開日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2005-023

【出願番号】特願2003-394322(P2003-394322)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の作動条件が成立した場合に作動される可動体を有し、この可動体の作動状態に応じて入賞口への入賞確率を変更可能な可変入賞装置と、前記可動体を所定の回転中心回りに回転動作させ、入賞口に対して所定の第1姿勢と第2姿勢との間にて変位させる作動機構とを備え、

前記可動体が前記第2姿勢に変位された状態でその上面側となる位置に球受け面が形成され、この球受け面にて遊技球を受け止めて入賞口に向けて案内可能であることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記可動体の一部を構成し、基端部が駆動軸に支持されて作動機構により回転動作される第1の羽根状部材と、

この第1の羽根状部材とともに可動体を構成し、かつ、基端部が第1の羽根状部材と異なる位置で回転自在に支持された第2の羽根状部材と、

第1の羽根状部材と第2の羽根状部材とを相互に連結し、作動機構により第1の羽根状部材が回転動作されるのに伴い、第2の羽根状部材を第1の羽根状部材とともに回転動作させながら第1の羽根状部材に対して長手方向に相対的にスライドされることにより、これら第1および第2の羽根状部材がともに可動体として第2姿勢に変位されたとき、球受け面として規定される範囲を第1姿勢にあるときと比較して拡張させるリンク機構とを備えていることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。